

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	りあん嘉麻教室		
○保護者評価実施期間	2026年(令和8年)2月2日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2026年(令和8年)2月2日		～ 2026年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年(令和8年)2月20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特別支援学校の子どもたちと地域の学校に通う子どもたちが一緒に活動をしたり、遊んだりする事お互いを尊重し合いながら、良い刺激となりコミュニケーションに繋げる事ができています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援学校と地域の学校の子どもたちが自然に関われるよう、少人数グループでの活動内容を取り入れる工夫をしています。</li> <li>・活動や遊びの中で、コミュニケーションを取りながら、やり取りができる環境設定を行い、友達と関わる楽しさが経験できるように活動内容を工夫しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数グループでの活動を継続しながら、子どもたちがより主体的にやり取りできる場面を増やしていき、また、活動後の振り返りや職員間の情報共有を充実させることで、関わりの質をさらに高め、友達と関わる楽しさをより深く実感できるよう支援の工夫をしています。</li> </ul>
2	学習支援、運動、レクリエーション、クッキング、創作活動、戸外活動、行事、遊びなど、子ども達の興味・関心に合わせた活動を取り入れています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容を視覚的に分かりやすく提示し、見通しを持って参加できるように工夫しています。</li> <li>・「楽しかった」「また、したい」という気持ちに繋げていける活動内容に設定する工夫をしています。</li> <li>・職員が子どもたちと一緒に楽しむ事で「たのしい」を共有しながら活動に取り組む事を意識しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの意見や要望も活動内容に反映し、集団の中でたくさんの事を経験できる取り組みをしています。</li> <li>・特に運動の活動でのグループ分けて、低学年と高学年のバランスの取り方、内容設定の難しさがある為、どの学年と同じグループになっても楽しむ事ができる取り組みをしています。</li> </ul>
3	他事業所(就労支援B型事業所、就労移行支援事業所、生活介護事業所)との協力体制や学生ボランティアの参加があり、子どもたちが沢山の方と関わる機会を作ることができています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所や学生ボランティアと連携し、多様な人との関わるの機会を計画的に設定し、事前の情報共有や役割調整を行うことで、子どもたちが安心して交流できる環境づくりを心掛けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所との定期的な振り返りや、子ども達の反応や感想の情報共有を充実させ、活動の質の向上を目指し、子どもたちの主体的な関わりをより引き出す事ができる取り組みをしています。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スポーツクラスの利用希望者が少ない状況が続いており、活動内容の周知や特色の発信が十分とは言えない点が課題となっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容が分かりづらく、具体的なイメージが伝わっていない点だと考えています。</li> <li>・児童、保護者のニーズに沿って活動内容が設定されない事がある点だと考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の様子を写真や通信で発信し、活動内容をより具体的に伝えていきたいと思っています。また、保護者に運動の取り組みを見ていただける機会を定期的に作っていき、身近に感じていただけるクラスになるように工夫をしていきたいと思っています。</li> <li>・運動が苦手な児童でも安心して参加できる環境作り(ルールの視覚化など)をさらに強化していき、「できた」の経験を増やしていける内容にしていきたいと思っています。</li> </ul>
2	・中学生に対しての支援体制が十分に整っていない点が課題となっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を見据えた移行支援(高校進学、社会参加)に向けての支援が不十分さとなっている点だと考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路学習、自己理解ワーク・ソーシャルスキルトレーニングを取り入れていけるように職員一人ひとりがスキルアップをしていき一緒に将来像、未来図を考えていける支援ができる様にしていきたいと思っています。</li> </ul>

3	・活動内容、取り組み、マニュアル等が保護者へ十分に周知できていない点が課題となっています。	・InstagramやHGUに掲載はしていますが、中々、閲覧に繋げる事ができず、発信が上手くできていない事で周知できていないと考えています。	・インスタ等を苦手としている保護者もいる為、「にじぼんだより」を定期的に作成し配布をする事で、保護者に見ていただく機会を増やし、事業所の取り組み等を知っていただけるように工夫をしていきたいと思ひます。
---	---	--	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	りあん嘉麻教室
------	---------

公表日 令和8年4月20日

52名（きょうだい児で利用：5家庭）

利用児童数 46家庭に配布

回収数 46家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	3	0	2	・実際に利用している児童数が分らない為、スペースが十分かが分らないです。	・行事などを通して事業所内を見ていただく機会を増やしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	36	5	1	4	・スポーツクラスの職員が少ない様に感じます。	・配置基準は満たしているが、職員の配置やそれぞれの人数が分かりにくい為、その都度、配置や人数を伝えていくようにします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	0	0	6		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	44	1	0	1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44	1	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44	0	0	2		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	44	1	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	45	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44	0	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	43	1	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	23	6	6	11		
保護 者へ の 配	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45	1	0	0	・見学や契約時に説明は受けただけですが、詳しく覚えていないです。	・見学時、契約時にしっかり保護者に伝える様に更に丁寧な説明を心掛けていきたいと思っています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44	1	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	32	4	2	8		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	44	1	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	39	2	1	4	・相談をする機会がないのでわかりません。	・保護者が気がねなく相談ができる環境をしっかり作っていききたいと思っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43	1	0	2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28	7	5	6	・秋祭りなどで、きょうだい児や家族と一緒に参加ができる機会を設けていただき嬉しく思います。	・今後も定期的に、家族で参加ができる活動や行事を計画していきたいと思っています。

説明等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	42	3	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	41	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい先生の名前が分からなかったため「にじぼんだより」で掲載がありました。</li> <li>・インスタグラムでの発信もあり活動の様子がわかりやすいです。顔スタンプはなくても良いのかなあと思っていますが、個人情報の観点から難しいのかなとも思います。</li> <li>・インスタなど苦手な為、見ていません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も保護者に活動の内容などを詳しくお知らせできるように取り組んでいきたいと思っています。</li> <li>・インスタグラムやHGUを多くの保護者の方に見ていただくように発信をしていきたいと思っています。</li> <li>・インスタなどSNSが苦手な保護者もいる為、そういった保護者にも見てもらえるように「にじぼんだより」を定期的に発行していくなどの工夫をしていきます。</li> </ul>
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	44	2	0	0			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	41	4	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に説明は受けた覚えはありますが、詳しく見た事がないです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルがある事を保護者に周知し、より具体的にわかりやすく発信していく工夫をしていきます。</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	45	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	42	2	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	43	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故や大きなケガをした事が無いです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、些細な事でも保護者に連絡、報告、説明を行う体制を作っていく迅速な対応が取れる様にしていきたいと思っています。</li> </ul>
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	43	2	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	38	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分たちの居場所＝りあん」となっていて、たくさんの異年齢のお友達がいる事で自由遊びができる事で楽しんでいます。</li> <li>・今の時期、反抗期もあり楽しく通えていない時があります。</li> <li>・高学年になり、学校の友達関係を優先したいことも原因の一つとなっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも「りあんが居場所」と思ってもらえる環境、雰囲気作りをしていきます。</li> <li>・高学年になるタイミングで利用の仕方について、子どもたちと話をしながら、子どもたちの意思を尊重しつつ、利用時に楽しめる環境、雰囲気作りをしていきます。</li> </ul>
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	2	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な個性、特性を持った子どもたちがいる中で個々に合わせて一生懸命、対応していただき、いつもありがとうございます。</li> <li>・もっと体を動かす機会を増やしてもらえると嬉しいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも一人ひとりに合った支援ができるよう職員一人ひとりが意識と自覚を持って全力で取り組んでいきたいと思っています。</li> <li>・運動の活動を増やしていき、ストレス発散に繋げていける内容設定にしていきたいと思っています。</li> </ul>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		りあん嘉麻教室				公表日	令和8年4月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		・部屋数が多い為、活動や遊びの場所を分けて、何を何処で取り組むか分かりやすい環境設定をしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		・活動内容（行事、戸外活動、制作活動、運動など）に応じて、グループ分け等の調整をしながら、それぞれの活動・場所に職員が適宜に配置できるように工夫をしています。	・配置基準は満たしているが学校の送迎の時間帯が重なってしまうと人手が足りない時がある為、その点が改善点です ・教室数に対して職員数が足りないと感じます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13		・スケジュールボードを活用し視覚的に提示をしている ・動的にわかりやすい構造になるように工夫・配慮をしています。	・活動スペースと静養スペースの区分が十分でない時間帯があり、刺激過多になる場合があります。 ・肢体不自由児の利用を想定した設備面の更なる整備（段差解消や動線確保）に課題があります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・毎日、掃除、消毒は行っており清潔を保つ事ができており、皆が心地よく過ごせる環境となるように日々、全員で努めています。 ・人数や活動内容に合わせて環境設定を行う工夫をしています。	・換気や室温管理について、季節や利用人数により快適性に差が生じる場合があります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		・刺激を外したい時やクールダウンをしたい時に、気持ちを落ち着かせる事ができる部屋とスペースを確保しています。	・クールダウン目的での使用時、個別空間と活動空間の距離が近く、音や刺激が遮断しきれない場合があります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13		・業務改善にあたり、職員間で話し合い・改善に努める様になっている。朝礼、終礼、月1回の会議・勉強会・ケース会議を実施し、随時、振り返りを行い改善に努めています。	・長期休校時においても短時間でも定期的な振り返りミーティングを設け、全職員が意見を出せる場を確保する必要があると思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・保護者の意向を把握し、職員間で話し合いを行い、改善できるところは迅速に改善出来る様に対応しています。	・改善策の実施状況について、保護者への周知が十分でない場合があります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・毎日の朝礼や月1回の全体ミーティング、月1回の現場職員でのミーティングで意見交換を行い、業務改善に繋げていけるようにしています。	・意見は出されているが、結果の共有が不十分なことがあります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13		・今年度より第三者による外部評価を依頼している	・評価結果を職員会議で詳細に共有し、全員が改善方針を理解できる仕組みを整えていく必要があります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		・月1回のミーティング内での勉強会を実施したり、外部研修にも積極的に参加をしている	・研修の受講機会が職員の勤務時間や業務量の影響を受け、希望通りに参加できない場合があります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13		・作成、公表をしており、玄関先にも掲示しています。	・保護者や関係機関への周知ができていない点が課題点です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13		・課題点などを職員間で情報共有を行いながら児童発達支援管理責任者がアセスメントを行い、支援内容を個別支援計画書に落とし計画を作成しています。 ・初回・更新月（年に1回）、変更があった場合など、アセスメントを取り直し、保護者の意向、ニーズに合わせた個別支援計画書を作成しています。	・アセスメント結果の説明が十分でないことがあり、家庭との共通理解が不十分になる場合があります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		・職員間で情報共有を行い、検討等を行い共通理解をした上で個別支援計画書を作成しています。	・職員間で児童の優先課題や支援方針の解釈にばらつきが生じる場合があります。	

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		・作成した個別支援計画書を共有しており、個々に合わせた支援方法が出来るように計画に沿って取り組んでいます。	・計画の更新内容や修正点が職員全員に周知するのに時間が要してしまう事があります。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13		・日々の活動場面での行動観察を通して適応行動の状況を把握しています。得られた情報は職員間で共有し、個別支援計画の作成および見直しに反映しています。	・アセスメント結果を職員会議で共有し、支援計画や個別支援内容に反映する仕組みを整えることが必要です。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13		・個別支援計画書にきちんと記載をし、具体的な支援内容が設定できるように努めています。	・移行支援については、将来を見据えた中長期的視点をより意識し、関係機関との連携体制を一層強化していくこと必要です。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		・職員で月に1度、活動・運動プログラムについて話し合いを行い立案しています。 ・その時の児童の状況に応じてプログラムを組み立ていくようにチームで話し合いを定期的に行っています。	・児童の特性・希望・課題を整理し、優先度や目標を明確化した上で活動プログラムに反映すること必要です。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		・活動内容がマンネリ化しない様に、児童の得意不得意を職員間で情報共有しながら課題設定を工夫しています。	・児童の興味や反応を見て、柔軟に活動内容を変更できる体制を今後も整えていく事が必要で。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13		・児童の状況や障がい特性に沿って、個別・集団で必要な課題を上げて個別支援計画書を作成するように努めています。	・児童本人や保護者の希望も反映し、活動の参加意欲や達成感を高める工夫を今後も行う事が必要で。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		・朝礼を行い、前日の児童の様子、課題設定での振り返り等を行っています。 ・活動の内容、役割分担の打ち合わせを行い周知徹底できるように職員用のホワイトボードで提示を共有しています。	・毎日の打合せは実施しているが、長期休校時が短時間での共有となることもあるため、活動内容や個別配慮事項をより具体的に確認できるよう、事前準備や情報整理を徹底していく必要で。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13		・送迎後、活動での児童の様子、保護者とのやり取り等の報告を行い、情報共有を行う。また、勤務時間が違う職員もいる為、次の日の朝礼で再度、共有するようにしています。	・長期休校の際が、情報共有が上手くできていない時がある為、今後、どのように共有していくかが課題点です。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		・毎日の記録は個別支援計画書に沿って、それぞれの項目で記録を取る様にしている工夫をしています。・欠席時、保護者・学校からの情報共有を記録し、職員間での情報共有ができる様に努めています。	・職員間での情報共有を更に周知するため、重要事項や変化については口頭確認も併用し、確実な共有体制を継続していくことが必要で。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		・モニタリング月、見直し月、更新月と職員でケース会議を実施し、モニタリング及び個別支援計画書を作成しています。	・職員間でケース会議を行う時間を更に確保し、共通理解のもとで計画を作成できる体制を継続していく事が必要で。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13		・日常生活動作の習得や自立に向けた支援、創作活動や運動遊びを通した発達支援、地域や社会との関わりを意識した活動などをバランスよく取り入れています。活動同士を関連付けながら、子どもたちの主体性や社会性の育ちにつながるよう工夫しています。	・各活動のねらいや関連性を職員間でより明確に共有し、意図をもった組み合わせた支援を強化していく事が必要で。 ・地域交流や社会参加の機会について、より計画的に取り入れられるよう検討していく事が必要で。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13		・児童発達支援管理責任者若しくは管理者が担当者会議に参加をしているが、事前の会議で職員と情報共有を行い、内容を再確認する様に努めています。	・職員の声かけや関わり方によって選択が誘導的にならないよう、支援方法の振り返りと共通理解を継続していく事が必要で。 ・意思表示が難しい児童に対しても、視覚支援などにより、より分かりやすい選択環境を整えていく事が必要で。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13		・児童発達支援管理責任者若しくは管理者が担当者会議に参加をしているが、事前の会議で職員と情報共有を行い、内容を再確認する様に努めています。	・児童の状況を把握している職員が参加しているが、事前の情報整理や資料作成をより充実させ、会議で具体的な支援内容を分かりやすく共有できるよう改善していく事が必要で。 ・担当職員が参加できない場合は、十分な引き継ぎを行い、児童理解に基づいた発言ができる体制を整えていく事が必要で。

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医や協力医療機関と必要に応じて情報共有を行ったり、相談員や他事業所と連携を取りながら支援方針の共有を図る工夫をしています。</li> <li>・学校・子育て支援課と連絡を取り合い、児童の状況や支援方法について情報共有を行っています。</li> <li>・ケース会議や担当者会議に参加し、多職種での支援体制が取れる様にしています。</li> </ul>	個人情報保護に配慮しながら、円滑な連携を図る工夫が必要です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と情報共有に関して、送迎の際に当日の様子や保護者への伝達事項等、連絡および情報交換をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校との情報共有は行っているが、行事変更や下校時刻の急な変更にも迅速に対応できるよう、確認体制をより強化していく事が必要です。</li> </ul>
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の児童発達支援事業所から放課後デイに移行の際は情報を提供していただき、法人内の児童発達支援事業所であれば就学前会議を行い情報の共有に努めている。また、子育て支援課の保健師との連携も取っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて情報共有は行っているが、就学時のみで終わらないよう、継続的な連携の仕組みづくりを強化していく事が必要です。</li> </ul>
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、特別支援学校の中学部を卒業する児童が高等部に進学しない為、障がい福祉サービスに移行する為、関係機関と情報共有を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の不安軽減にも配慮し、移行前から十分な説明や相談の機会を設け、連携を強化していく事が必要です。。</li> <li>・進路決定後だけでなく、早い段階から将来を見据えた支援視点を持ち、計画的な準備を進めていく事が必要です。</li> <li>・引き継ぎ後も必要に応じて情報共有や相談ができる体制づくりを検討していく事が必要です。</li> </ul>
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センターが実施している研修に参加しています。</li> <li>・今後も継続して研修等の参加をしていきたいと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言や研修内容が一部の職員だけにならないように共有・振り返りの仕組みをより充実させていく事が必要です。</li> </ul>
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童や児童館との交流はないが、地域の公園に行く事で、地域の児童と一緒に遊ぶ機会を増やせる様に工夫をして取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流の機会が一部の児童に偏らないよう、参加機会を平等に提供できる工夫を継続していく事が必要です。。</li> <li>・地域の関係機関や保護者とも連携し、交流活動をより計画的・持続的に実施できるよう環境を整備していく事が必要です。</li> </ul>
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換会や連絡会、研修会などに定期的に参加しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な参加を継続していき情報収集とネットワーク構築を図る事を</li> </ul>
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HGUの連絡帳にその日の様子や活動の様子を記載、お迎え時、送迎時にその日の様子を伝える様にしています。また、家庭や学校での様子の中で気になる事があれば、その都度、話をしながら情報が共有できるように努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や送迎時の口頭でのやり取りが中心となっており、十分に時間を確保した情報共有が難しい場合があります。</li> <li>・保護者の就労状況等により、面談機会の調整が難しいケースがあります。</li> </ul>
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は保護者の方が参加できる研修の案内を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修への参加に上手くつなげていく事ができていなかった点が課題です。</li> </ul>
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援プログラムや利用者負担等については、見学、契約時に説明を行い、運営規定については契約時に説明を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明は行っていますが、今以上に具体的にわかりやすい説明を意識していく事が必要です。</li> </ul>
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画の作成および見直しの際に、日常生活や学校生活の様子、将来の希望、不安や困りごとなどを聞き取りながら支援内容に反映しています。また、児童の発達段階に応じて分かりやすい言葉や視覚的支援を活用し意思表出を促しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談時間の確保を計画的に行い、十分な意見交換の機会を確保できていない点が課題点です。</li> <li>・家庭状況の変化に迅速に対応できるよう、定期面談以外のフォロー体制を強化する事が必要です。</li> </ul>	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回、見直し月、更新月の際に説明を行い同意を得てサインをいただいています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忙しいご家庭や、基本、祖父母が対応されているご家庭に対して、個別支援計画書の説明が上手く伝わっていないことがある為、その点が課題点です。</li> </ul>	

39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩みや困ったことを、解決できる支援につなげられるよう、関係機関と連携を取りながらサポート出来る様に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や連絡帳での相談が中心となり、十分な時間を確保した面談機会が不足する事がある為、その点が課題点です。</li> <li>・保護者が遠慮して相談を控えてしまうケースがあり悩みを把握しきれていない可能性があります。</li> </ul>
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋祭りを開催し保護者同士や家族で交流できる場を設けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会開催の声は出ているが、保護者間での日程調整が難しく保護者会は開催できていないです。</li> <li>・保護者も一緒に参加ができる行事を今後は定期的に取り入れていく事を検討することが必要です。</li> </ul>
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情対応マニュアルを作成し、受付から解決までの流れを明確にし、契約時および重要事項説明書にて、苦情受付方法（電話・面談・書面等）を周知しています。</li> <li>・苦情があった場合は、速やかに事実確認を行い、職員間で共有し、改善策を検討・実施し対応内容や改善策について、保護者へ説明・報告を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな声（苦情）も記録に残す仕組みを徹底していく事が必要です。</li> </ul>
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・HGUに活動の内容や写真を掲載したり、インスタを定期的にアップしています。</li> <li>・今年度より、「にじぼんだより」を年に1回発行しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HGUやインスタの周知できていない為、中々、見てもらう事ができていない点が課題点です。</li> <li>・閲覧してもらっている家庭が少ない点が課題点です。</li> </ul>
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・同意を頂いていない児童の写真の取り扱いには十分に気を付け配慮しています。</li> <li>・インスタ等に載せる際は、スタンプで顔を隠すなどの工夫をしています。</li> <li>・契約時に個人情報の利用目的を説明し、同意を得ている。また、同意しない場合は「同意しません」と個人情報取り扱い同意書に記載・サインをもらう様にしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時での説明後は、定期的に保護者に個人情報の取扱いについて説明を行っていない為、個人情報の取扱いに十分に留意しながら取り組んでいる事が保護者に周知できていないです。</li> </ul>
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの特性に応じて、視覚支援（絵カード・スケジュール表等）やわかりやすい言葉かけを行い、意思の疎通を図っています。保護者へは連絡帳や電話、面談等を通して丁寧な情報共有に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の就労状況等により、情報共有のタイミングが限られる場合があります。</li> </ul>
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所と協力体制を取りながら、一緒に行事などを行う工夫をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ、地域住民の方々との連携が取れていない事もある為、今後も開かれた事業所を目指して取り組んでいくことが必要です。</li> </ul>
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員は研修を行い周知しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への周知が形式的になりやすく、全体に周知できていない状況が見られています。</li> </ul>
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPは作成しています。避難訓練や机上訓練を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄品や連絡体制の定期的な点検が継続的な課題となっています。</li> </ul>
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント時に健康状態や服薬状況、てんかん発作の有無等を詳細に確認し、個別支援計画へ反映しています。また、基本情報用紙を作成し保護者にも記載してもらっている。服薬がある場合は与薬依頼書・処方箋を活用し対応しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・てんかん発作については勉強会を行っているが、実際に、てんかん発作を見た事のない職員もいる為、対応での経験不足がある点が課題点です。</li> </ul>
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントの際に食物アレルギーの確認を行い食事内容に十分注意しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員がアレルギー対応手順を確実に理解・実践できる体制の強化が必要です。</li> <li>・新規利用児童の情報共有をより迅速に行う必要があります。</li> </ul>

50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画を策定し、事故防止・災害対策・感染症対策等について具体的な対応手順を定めています。職員に対しては定期的に安全管理に関する研修や訓練（避難訓練・救急対応研修等）を実施し、緊急時にも迅速かつ適切に対応できる体制を整えています。また、日々の環境点検やヒヤリハット事例の共有を通して、安全意識の向上と再発防止に努めています。今後も安全管理を徹底し、安心してご利用いただける環境づくりに取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練が形式的にならないよう、実践性を高める必要があります。</li> <li>・安全計画の内容を定期的に見直し、状況や事業所の実情に応じて更新する必要があります。</li> </ul>
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画の内容や緊急時の対応方法について、契約時にご家族へ説明と行い周知しています。また、避難訓練の実施状況や安全対策の取り組みについても随時お知らせしています。緊急連絡体制や引き渡し方法についても事前に確認し合い、万が一の際にも円滑に連携できるように契約時に緊急引き渡しカードに記入してもらおうなどの対応を取っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知が一方の方向の情報提供にとどまりやすい為、周知できていない状況があります。</li> </ul>
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットが発生した際には、速やかに記録を行い、朝礼等で職員間で共有しています。また、原因分析を行ったうえで具体的な再発防止策を検討・実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例の振り返りが形式的にならないよう工夫が更に必要です。</li> </ul>
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止に関する研修を定期的実施し、事例検討を通して不適切支援の防止について理解を深められるよう努めています。また、外部研修にも参加をし知識と意識の向上に繋がっていきけるよう努めています。</li> <li>・また虐待防止委員会を設置し早期発見・早期対応ができる体制を整えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に研修を実施しているが、より実践的な事例検討やロールプレイを取り入れ、現場での判断力向上につなげていくことが必要です。</li> </ul>
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施の可能性が想定される場合には、事前に保護者・相談員に具体的な状況や方法、時間などを丁寧に説明し、十分な理解と同意を得たうえで個別支援計画に記載するようになっています。。また、実施した際には記録を残し、速やかな解除と再発防止策の検討を行うようになっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束を未然に防ぐための支援技術（行動分析や環境調整等）のさらなる向上が必要でです。</li> </ul>